

2025 年度事業計画

はじめに

2022 年から顕著になり始めた物価高騰は収まる気配がなく、国民生活を圧迫しています。このような状況は、生活上の困難がある人たちに最も大きな影響を与えます。このことが精神疾患の発症や病状の悪化につながることをないようにと願うばかりです。あらためて、地域で困った人に寄り添う精神障害者家族会の存在意義を自覚し、全国の家族会が果たすべき役割の重要性を確認し、その家族会の全国組織であるみんなねつとの維持継続を重要課題として再認識する必要があります。今から 60 年前の 1965 年、精神障害者に対する社会的バッシングのさなかに、世界で初めて精神障害者家族会の全国組織が立ち上がりました。この力強さの歴史を背負いつつ、みんなねつと提言をもとにこれからの歩みを進める一年とします。

基本理念

2025 年度は、精神障害者家族会の全国組織設立 60 周年、精神衛生法改正による精神保健医療の大転換という歴史的節目を迎えます。この歴史を受け、私たちの現状を踏まえ、次の 60 年を見据えた取り組みとするため、以下の基本方針を掲げます。

事業計画趣旨

「みんなねつと提言」の実現と持続可能な組織運営を基盤に、精神障害のある人々とその家族の尊厳と権利が尊重される社会の実現を目指す

基本方針

1. 「みんなねつと提言」の実現に向けた活動の強化
2. 持続可能な組織運営のための財政基盤強化
3. 精神障害のある人々とその家族のニーズに応じた事業展開
4. 関係機関との連携強化と社会への発信力向上

各方針の詳細

1. 「みんなねつと提言」実現に向けた活動の強化

1-① 委員会活動の活性化

目標: 各委員会が提言実現に向けた具体的な成果を創出する

具体的とりくみ:

- ・ 各委員会の役割と責任を明確化し、正会員(都道府県連合会)に共有
- ・ 合同会議や情報共有会を定期的で開催し、委員会間の連携を強化

- ・オンライン(インターネットを通じて、会議やセミナーなどを実施すること)を活用した正会員(都道府県連合会)参加型委員会運営の拡充
- ・新規委員・役員の育成

1-② 提言実現に向けた具体的なアクションプランと成果の可視化と情報発信

目標: 各委員会が提言項目を具体的に落とし込み、実現に向けた活動を推進する
具体的とりくみ:

- ・各委員会*が担当項目について定期的に進捗状況をモニタリング・評価
- ・委員会活動の成果を定期的に評価・検証し、正会員(都道府県連合会)に共有する
- ・必要に応じてインターネット、メールマガジン、SNS等を活用して正会員(都道府県連合会)のみならず社会へ情報発信する

2. 持続可能な組織運営のための財政基盤強化

2-① 賛助会員拡大

目標: 賛助会員数を増やし、安定的な財源を確保する

具体的とりくみ:

- ・緊急賛助会員拡大キャンペーンを実施し、短期集中的に新規獲得数を増加
- ・正会員(都道府県連合会)と共同で賛助会員拡大キャンペーンを企画・実施し、地域組織の獲得目標設定と進捗管理の把握をし、連携を強化
- ・賛助会員種別の多様化、賛助会員特典の見直しと拡充、会員向けサービスの拡充を行い、賛助会員制度の魅力を向上に努める
- ・WEB 賛助会員限定の情報の内容の充実を図ります
- ・みんなねっとサロンの活性化を図ります

2-② 収入確保策の多角的な検討と実施

目標: 賛助会員収入と他の収入源を確保し、財政基盤を安定させる

具体的とりくみ:

- ・賛助会費体系の見直し検討と賛助会員のニーズに合った魅力的な賛助会員制度(特典)を構築
- ・寄付・助成金獲得に向けた戦略を策定し、実行
- ・新たな収入源の開拓に向けた検討を行い、実行(Ex わたしのお守り保険)

2-③ 月刊みんなねっと誌のあり方の検討

目標: 月刊みんなねっとを安定的に発行し、賛助会員への情報提供を強化する

具体的とりくみ:

- ・製作体制や発行形態(電子版や、紙の冊子規格など)を見直します。
- ・応援してくれる方々(賛助会員)が、より効果的に情報を得られるように企画します
- ・発行経費と賛助会員数のバランスを分析し、持続可能な発行構成の検討
- ・デジタル化に対応し、SNS などに対応した情報発信の手段の構築
- ・低料第三種郵便発送体制(みんなねっとからの直送に集約化)の見直し検討

2-③ 事務局運営の効率化

目標: 事務局業務の効率化を図り、組織運営の業務量の軽減する

具体的とりくみ:

- ・業務内容の見直しと効率化に努めます。
- ・事務局内で情報を共有できる便利な道具(クラウド型の情報共有ツール)や、文章などを自動で作ってくれる AI(生成 AI)などを積極的に使い、仕事のやり方を今よりもっと工夫します。

3. 精神障害のある人々とその家族のニーズに応じた事業展開

3-① 家族(会)の実態把握と体験的知識の蓄積

目標: 家族(会)の実態を把握し、体験的知識を組織内で共有・活用するための仕組みづくり

具体的とりくみ:

- ・都道府県連合会訪問調査と報告書発表【淑徳大学伊藤千尋先生科研費】
- ・都道府県連合会に対する定期的な基礎調査実施のための試行
- ・体験的知識を組織内で共有・活用する仕組みづくり
(対自治体要望書ひな形の作成と活用など)
- ・アーカイブ資料の整理着手と公開準備

3-② 家族会員のニーズの把握と反映

目標: 家族会員のニーズを的確に把握し、事業に反映させる活動の展開

具体的とりくみ:

- ・アンケートの定期的な実施
- ・意見交換会の開催
- ・正会員(都道府県連合会)専用コミュニティの検討(LINE グループなど)

3-③ 家族学習会活動の育成強化

目標:家族学習会活動の継続課題対応と活性化

具体的とりくみ

- ・家族学習会の周知拡大、アドバイザーの訪問による見守り、担当者の養成 ^{*3}
- ・地域家族会による「家族による家族学習会」等のオンライン(インターネットを通じて実施する)支援、およびブロック圏域での実施をめざした推進

3-④ 相談支援継続実施

目標: 精神障害のある人々とその家族に対する相談支援員体制を強化する

具体的とりくみ:

- ・電話相談窓口の設置継続と相談員の確保と補強
- ・相談員間の交流の場の創設

3-④ 研修等の機会の提供

目標: 全国大会・ブロック研修大会開催継続とeラーニングなどの利活用

具体的とりくみ:

- ・全国大会(京都大会)および各ブロック大会開催県への補助金支給
- ・インターネットを使った学習(eラーニング)の積極的な活用
- ・都道府県連合会研修会等への職員の講師派遣

4. 関係機関との連携強化と社会への発信力向上

4-① 関係機関との連携強化

目標: 関係機関との連携を強化し、社会資源の活用や政策提言実現を目指す

具体的とりくみ:

- ・各省庁をはじめ公共各種部会の受任^{*2}とその構成員基準に備える人材確保
- ・関係団体・機関との連携深化(行政・障害団体にとどまらず企業も含む)
- ・日本障害者フォーラム(JDF)を通じた連携強化と国際的な視点の導入
- ・精神科診療所協会との懇談機会を設定

4-② 広報・啓発活動の強化

目標: 精神障害に対する理解を深め、偏見を解消する

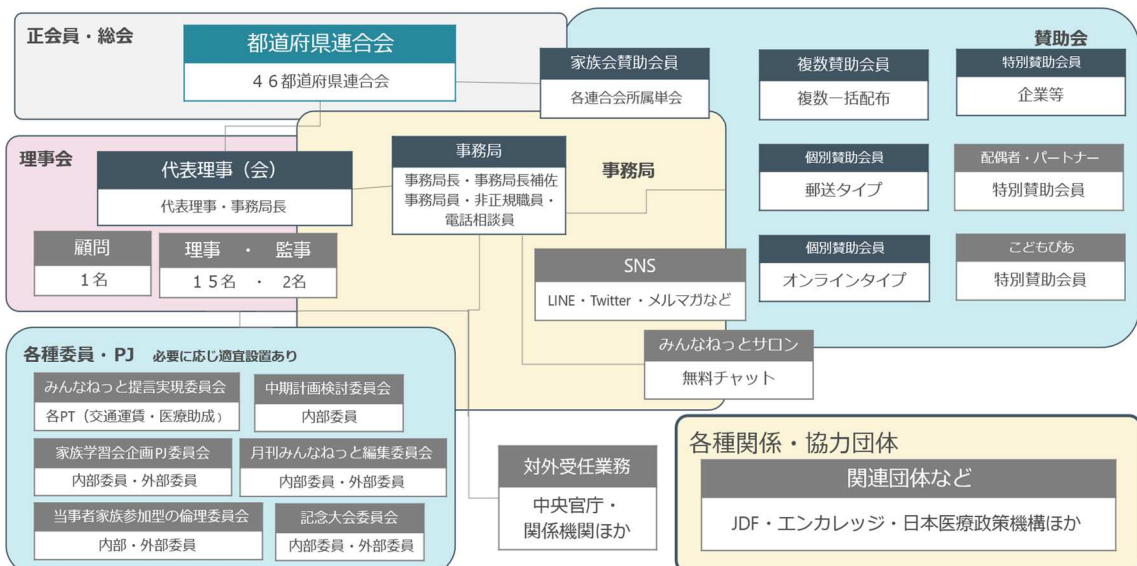
具体的とりくみ:

- ・ウェブサイト、SNS、メルマガ等の特性を活かした情報発信の工夫
- ・広報担当の育成・スキルアップ、外部専門家との連携
- ・みんなねっとフォーラム、家族学習会セミナー、シンポジウム等の開催、精神保健医療福祉に関する普及啓発キャンペーンの実施
- ・ホームページみんなねっとライブラリーの充実
- ・情報発信と市民との交流を推進の検討

5. 総会・理事会開催予定等

- 1 総 会 定例年1回 6月6日(金)対面
- 2 理 事 会 定例年4回
5月28日(水)Web, 9月19日(金)対面,
12月17日(水)Web, 3月13日(金)対面
- 3 代表理事会 月2回以上
- 4 法人内部 監 査 5月
- 5 全国大会(京都大会) 9月6日(土)
- 6 組織図

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会組織図 (2025年度)



* 1 法人各種委員会等

委会名等	構成員
みんなねっと 提言実現委員会	委員長:岡田久実子 新銀輝子・木全義治・草間博・林あおい・横山朋子・服部信子
JR など交通運賃割引 推進プロジェクトチーム	座長:新銀輝子 プロジェクト事務局長:奥田和男 轡田英男・下屋敷正樹・大野素子・川北秀成・川並正幸・ 大島信雄・西村恭子・静津由子 事務局:小幡
医療費助成推進 プロジェクトチーム	委員長:木全義治 檜橋恭一・青木聖久・横田直子・中村喜久男・川並正幸・ 神田弘法・高波幸雄・南部和幸・轡田英夫・渡辺邦弘・赤池千明
当事者・家族参加型の 倫理審査委員検討 プロジェクトチーム	座長:夏苺郁子 岡田久実子・塚本弥生・坂本拓・新銀輝子・山田圭吾・ 高村裕子・小幡恭弘
中期計画検討委員会	委員長:赤池千明 下屋敷正樹・前田直・阪井ひとみ・中村喜久男・神田弘法 事務局:小幡恭弘
月刊みんなねっと 編集委員会	委員長:赤池千明 飯塚壽美・菅原かほる・吉邑玲子・本山久美子 協力員:野村忠良 編集業者:松坂尚美(いりす)、 事務局:高村裕子・佐瀬望
家族学習会企画 プロジェクト委員会	委員長:飯塚壽美 杉本富太郎・前田直・酒井佳永・島袋照美・隅谷和生・永野昭二・ 野田敏夫・守谷栄二・横山恵子・吉澤智子・伊藤さえ子・半澤真澄・ 佐藤美樹子 協力委員: 井汲悦子・伊藤順一郎・岡田久実子・蔭山正子・木村諭志・倉澤政江 事務局:高村裕子・松本まゆみ
全国家族ニーズ調査 委員会	委員長:稲沢公一 伊藤千尋・鈴木秀、中村喜久男 オブザーバー:林晋吾 事務局:小幡恭弘、高村裕子
60周年記念イベント 実行委員会(新設)	依頼調整中

* 2 主な法人受任

当会の目的を達成するためにも、行政当局等への参加と、関係機関・団体への協力を推進する(下記は現時点主な受任を示す *印は幡事務局長)

- ① 内閣府 障害者政策委員会(新銀副理事長:以下 S)
- ② 厚生労働省 社会保障審議会障害者部会(岡田理事長:以下 O)
- ③ 厚生労働省 労働政策審議会障害者雇用分科会(S)
- ④ 厚生労働省 精神保健医療福祉の今後の施策推進に関する検討会(O)
- ⑤ 厚生労働省 障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会(S)
- ⑥ 厚生労働省 宿泊施設向け接遇研修ツール作成等のための検討会 *
- ⑦ 厚生労働省 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業実行委員会(O)
- ⑧ 厚生労働省 障害者職業能力開発校の在り方の検討会 *
- ⑨ 国土交通省 高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した
建築設計標準に関するフォローアップ会議 *
- ⑩ 国土交通省 バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会 *
- ⑪ 国土交通省 公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会 *
- ⑫ 国土交通省 鉄軌道のバリアフリー化の整備推進に関する検討会 *
- ⑬ 消費者庁 高齢障害者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会 *
- ⑭ 中央障害者社会参加推進協議会(赤池副理事長)
- ⑮ 独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター
障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究委員会 *
- ⑯ 独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構全国障害者技能競技大会競技委員会 *
- ⑰ 独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構評議員(S)
- ⑱ 日本障害者フォーラム(JDF):代表者会(O)
- ⑲ 日本障害者フォーラム(JDF):幹事会 *・政策委員会(高村事務局長補佐) *
- ⑳ 自由民主党ユニバーサル社会推進議員連盟 *
- ㉑ 自由民主党政務調査会障害児者問題調査会 *
- ㉒ 公明党障がい者福祉委員会 *
- ㉓ 国際障害者交流センター運営協議会(S)
- ㉔ 立命館大学医療・ヘルスケア領域における ELSI の歴史的分析とアーカイブズ構築 *
- ㉕ メディア・ガイドライン策定普及プロジェクト *

*** 3 家族学習会関連予定**

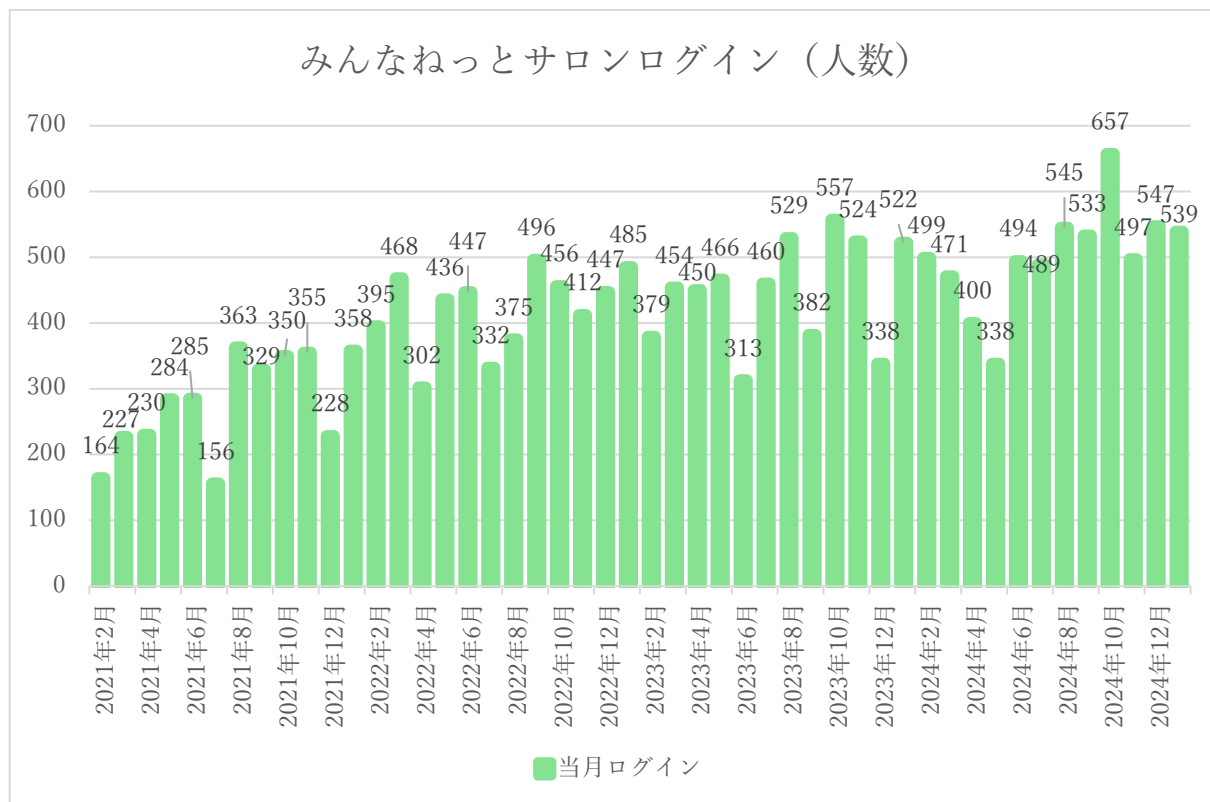
事業内容

- 1.家族支援ピアサポートセミナーの開催:3 か所
- 2.家族学習会ファシリテーター(担当者 or アドバイザー)の養成・フォローアップ:12 か所
- 3.アドバイザー派遣事業:40 か所×2 回
- 4.企画委員会の開催:年 4 回(リモート開催)

家族同士のピアサポートとして実施される「家族による家族学習会」プログラムを全国に普及させ、特に未実施の地域などでの実施数を増やし、その効果を示して。継続的・計画的に事業を展開し、プログラムを必要とする家族が参加することによって、精神障害に関する医療的及び福祉的な基本知識を学ぶとともに、家族同士の語り合いによる体験的知識の交流と共有が可能となる。それは家族自身を元気づけ、当事者への対応の変化を促進する契機となる。このことにより当事者の回復力を高めることにつながり、さらには精神障害への理解や偏見の解消につながることも期待できる。

家族学習会に参加した家族は、次には担当者となり、その次にはアドバイザーとしてステップアップしていくという人材育成の仕組みがある。これらファシリテーターは自身もエンパワメントされるとともに、家族会での役割を果たすなど社会貢献の一翼を担うことが可能である。

みんなねっとサロン 稼働状況

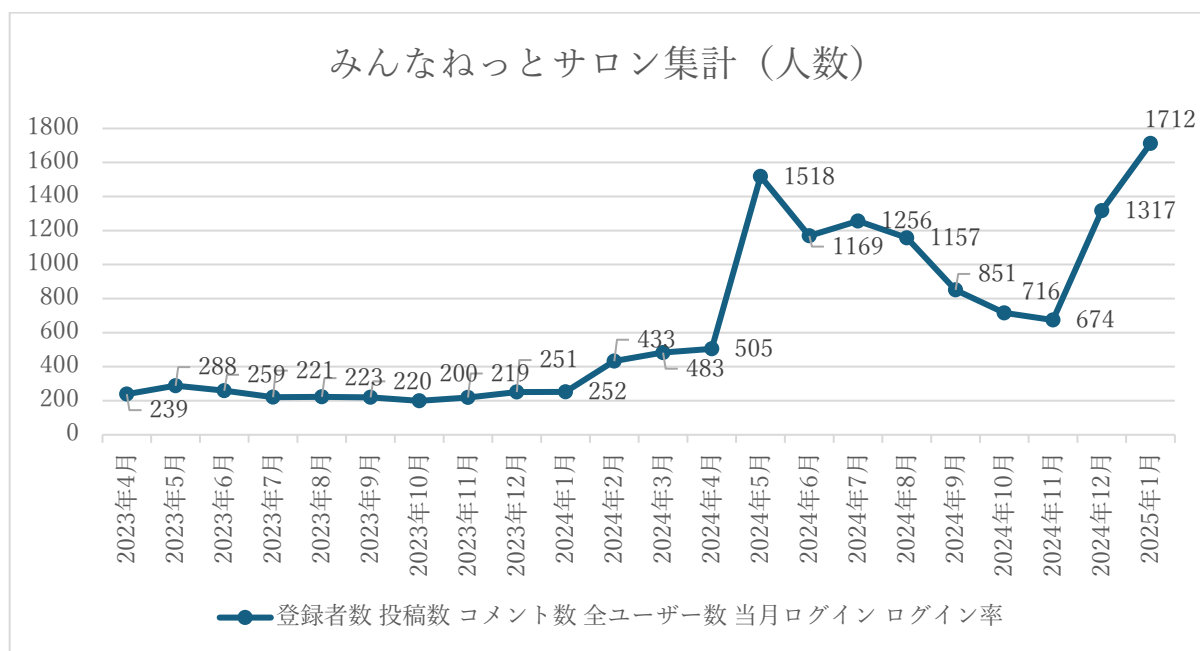


登録累計数

2020年8月から現在までに登録をしたことがあるひとは21,898人

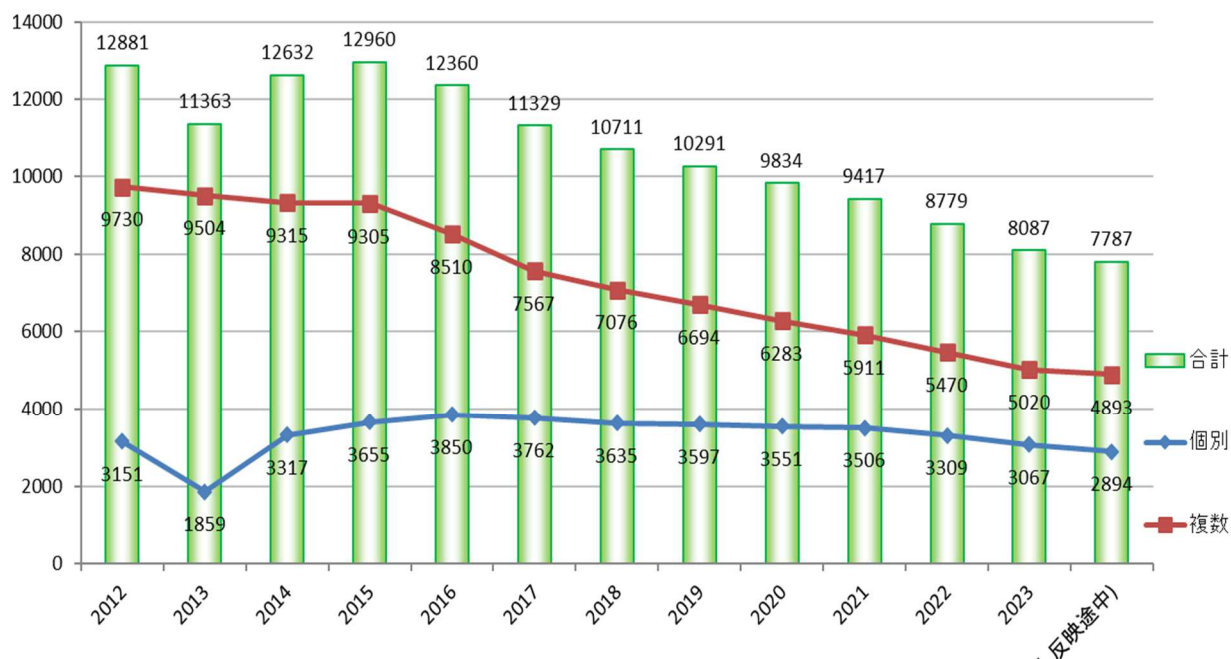
2年以上ログインをしていない登録者は5474件

(注) 1000人を超える登録のある月には登録後一度も接続がない不信な登録があります



賛助会員数の推移

会員数の推移(経年比較)



全国大会・ブロック大会 開催予定日

ブロック名	開催地	日 程
北海道・東北	岩手	10月7日
北信越	長野	10月16日
関東	群馬	10月26日
甲州・東海	岐阜	10月10日
近畿	京都	9月6日
中国		
四国		
九州・沖縄	佐賀	12月11～12日

2025 年度事業計画(案)

もくじ

はじめに 基本理念 基本方針

各方針の詳細

- 1.「みんなねっと提言」の実現に向けた活動の強化
- 2.持続可能な組織運営のための財政基盤強化
- 3.精神障害のある人々とその家族のニーズに応じた事業展開
- 4.関係機関との連携強化と社会への発信力向上
5. 総会・理事会開催予定等

参考資料 *1 法人各種委員会等

*2 主な法人受任

*3 家族学習会関連予定

みんなねっとサロン 稼働状況

賛助会員数の推移